

日本学術会議地域研究委員会  
人文・経済地理学分科会  
(第25期 第1回) 議事要旨

日時：2021年2月8日(月) 10:00~12:00

会場：オンライン開催

出席者：松原 宏、矢野桂司、井口 梓、池口明子、石川義孝、井田仁康、近藤章夫、田原裕子、中澤高志、中谷友樹、橋本雄一、浜口伸明、氷見山幸夫、増田 聡、水内俊雄、宮町良広、森本 泉、山川充夫、山崎孝史、山下 潤、山本佳世子、横山 智、吉田道代、渡辺浩平

### 議事概要

#### 1. 新役員の選出

世話人の松原会員より挨拶、出席委員の自己紹介の後、委員長に松原会員、副委員長に山本連携会員、幹事に近藤章夫連携会員、中澤高志連携会員が選出された。

#### 2. 第24期の活動報告と第25期の活動計画について

松原委員長より、配布資料にもとづき、第24期の活動内容について報告がなされた。主な成果は、2020年9月に出された提言「国土構造の将来像を踏まえた第2期地方創生施策の実施に向けて」で、それに向けた分科会やシンポジウムの概要について説明がなされた。続いて、第25期の活動計画について、松原委員長より提案がなされた。新型コロナウイルス感染症に関するシンポジウムを開催し、『学術の動向』にその内容を掲載し、提言を発出する、という方向性が確認された。また、観光小委員会の設置を幹事会に諮ることが提案され、承認された。

#### 3. ウィズ・コロナの下での地域政策に関する論点の整理

松原委員長より、新型コロナ関係データの取り扱いと政策的対応について、ウィズ・コロナにおける国土政策や地域経済産業政策、地方創生のあり方について、配付資料にもとづき、説明がなされた。その後、感染症対策における地理学からの貢献、コロナ禍での東京と地方の大学志願者の動向、格差や貧困の問題とコロナとの関係、海外研究への影響などについて、各委員から多くの意見が出された。第2回以降の分科会では、コロナ関連の論点について、本格的に検討することにした。

#### 4. その他

特になし。